



三菱東京UFJ銀行

平成20年7月30日

ISITC Japan年次総会

Working Group A 活動報告並びに SMPGグローバル会議等の状況

昨年からの活動報告と今後の予定

Working Group A活動状況の報告


- 2007年12月
 - Reverse Engineering IC会議の事前相談
 - 保振を中心にReverse Engineering Open Itemsの検討

- 2008年3月
 - パリSMPGグローバル会議の事前相談
 - MT536、537の情報項目の混在提案(米国より)
 - Market Claimの取扱(Euroclearより、MT530の活用等)
 - Japan Market Practiceの改訂作業完了

- 2008年6月
 - Reverse Engineering BVG会議の事前相談
 - Factored Securitiesの情報項目の混在提案(米国より)
 - ISO20022(UNIFI)に関する意見交換
 - SR2009/10Maintenance Requestの取り纏め

今後の活動予定

- 2008年7月～8月
 - 2009/2010年定例修正案の国内検討
 - 各国からの要望の妥当性の検討
- 2008年8月
 - SMWG会議(SWIFTに於いて)+BVG会議
 - 定例修正案の審議
 - ISO20022(Reverse Engineering)協議
 - SMPG事前会議
 - 個別項目検討
 - ISO20022(Reverse Engineering)協議
- 2008年9月
 - SMPGグローバル会議(ウィーン)
 - ISO20022(Reverse Engineering)協議
- 2008年11月
 - ISO20022(Reverse Engineering)の詳細ドラフト提示



SMPG: グローバル会議

ボストン+パリ

BVG: Reverse Engineering会議

会議概略

- 日程 10月5日～6日
- 会場 **Marriott Hotel**(ボストン)
- 参加者 約40名
- 開催方式
 - 全体会議
 - 分科会

- 日程 4月23日～25日
- 会場 **Le Meridian Hotel**(パリ)
- 参加者約60名
- 開催方式
 - 全体会議
 - 分科会

SMPG会議(ボストン)

● MT(ISO15022)・MX(ISO20022)

- ISO20022への移行に関するMarket Practice Documentの改訂作業の必要性
- スケジュールや検討事項の透明性を高めるべきである。
- SMPGでも継続的に審議する。

● Giovannini Barrier

- 2007年6月にHigh Gap Analysisが公表された。
- SMPGで、Gapの内容精査、Market Practiceレベルでの整合性のチェック。
- Giovannini Barrier 1(High Gap Analysis)の達成目標時期は2011年3月末(これがISO20022の拡大に繋がる時期かと思われる)

● 個別項目

- Factored Securites のGlobal Market Practiceの米国案提示ある。日本としての反対を表明。継続検討。
- Derivative Settlement MPやPartial Settlement MP等の議論を重ねた。

SMPG会議(パリ)

- **Target 2 Securities**

- T2Sの利便性に対して、現実的な課題等が議論された。証券決済の実務上の課題に加えて、システム開発コスト等から、賛否両論が出た。
- T2Sに加えて、EuroclearのSingle PlatformプロジェクトやClearstreamのLink Up SecuritiesによるCSD連携強化の3プロジェクトを進めており、今後の動向には目が離せない。

- **Reverse Engineering**

- 現状のISO15022からISO20022(UNIFI)への移行を円滑にする為のReverse Engineeringプロジェクトが進展している。
- Open Itemsの個別項目に関して、議論を行った。この議論に関して、多くの時間を費やした。

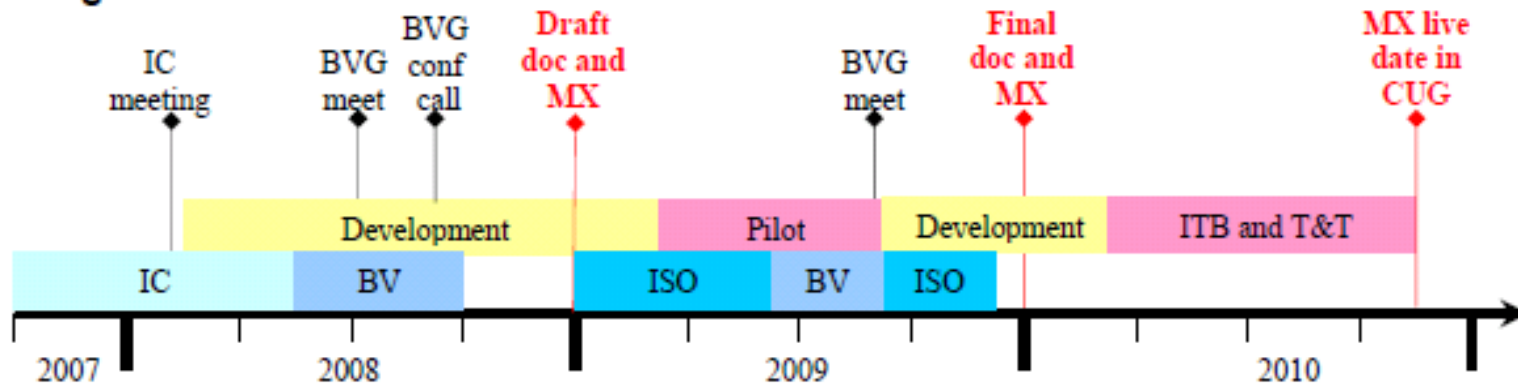
- **個別項目**

- 前回会議から米国と揉めているファクター債の取扱は、米国でのコンセンサスが得られていないので、米国からGlobal Market Practice(GMP)の提示はなく、審議は次回以降に持ち越しとになった。
- CSDリンクの取引、Repo関連取引、Place Of Listing等の検討を行った。

BVG会議 (SWIFT)

- 前哨戦IC会議後に続く検討の場
 - ICは日本からは保振が参加。
 - BVGのメンバーは、14名(米国2名、日本1名、それ以外は欧州勢)
 - Open Items 31項目を検討。
- Open Itemsの検討結果
 - 引き続きOpenとして残っているものは、『Negative Sign』と『Securities Financing』、本邦(保振さん)からの提起項目は、SR2009/2010にて対応する。
 - Reverse Engineering 4.0版に更新。Qualifier等の使用頻度が少ないものの整理・統廃合、最定義化を行う。

High-level timeline



今後の予定

- 8月26、27日
(**Securities Maintenance Working Group**)
 - SWIFT本部 (ブラッセル)
 - 2009と10年定例修正の具体案検討
 - S&R (2日間)
- 9月19、20日
(**Securities Market Practice Group**)
 - 開催地 ウィーン
 - **Reverse Engineering**への具体的な対応。
 - 米州、欧州地域からの多数出席が期待されている